

子どもに関わる
保育、教育、医療、福祉
支援者

定員**18名**

CARE認定 ワークショップ

2024 6.15 土 & 6.22 土

両日参加のプログラムです **13:00~16:00**

会場：秋田県立医療療育センター 講堂兼視聴覚室
(秋田市南ヶ丘1-1-2)



CARE (Child-Adult Relationship Enhancement) : 子どもと大人の絆を深めるプログラムは
子どもとのより良い関係づくりに大切な養育スキルを
体験的に学ぶことができるプログラムです。

学んだCAREスキルを、ご自身が子どもと接するときにも
子育てに悩む保護者さんとの面談の中でも、生かすことができます。

【ファシリテーター】

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻
看護学講座 助教 熊谷 真愉子 氏

秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田
センター長 荒川 祐介 氏

秋田県立医療療育センター臨床心理部門
技師 西館 千瑛 氏



詳細は裏面をご確認の上、お申込みください

【主催・問合せ】秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田
TEL018-826-8030 (9:00~17:00、土日祝日を除く)



CAREとは、米国オハイオ州シンシナティこども病院で開発された、子どもと関わる大人のための心理教育的介入プログラムです。PCIT(Parent Child Interaction Therapy)などのエビデンスの確認された心理療法をもとに作られました。子どもとの間に温かな関係を築くための基本的なスキルをロールプレイを通して学びます。



CARE とはこういうものです

- ☆子どもと接するとき大人がたくさん使うといいスキルと、避けたほうがいいスキルを具体的に学びます
- ☆褒めることで子どもの問題行動を減らす方法を学びます
- ☆子どもとの関わり方に悩む保護者さんに、CAREスキルを伝えることで、保護者さんと子どもの関係性の改善が期待できます
- ☆CAREが主に対象とする子どもの年齢は2～7歳ですが、小学生、中学生の子どもにもスキルを調整して使用することができます

CARE とはこういうものではありません

- ☆心理療法ではありません。そのため、医師や心理士に限らず全ての大人が、子どもに接するときCAREスキルを使うことができます
- ☆ 専門家受診が必要なほどの強度行動障害を治療するものではありません。子どもとより強く安定した関係性を築くためのスキルと、困った行動に日常の中で対応するコツを学ぶプログラムです

申込方法

締切 令和6年5月26日(日)

※期日前でも定員になり次第、締め切ります。

・右のQRコードからお申込みください。



・秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田のホームページからお申込みください。

<https://www.airc.or.jp/fukinotou/f-top.html>

連絡事項

- ・申込フォーム送信後、申込受付メールが送付されます。
- ・1日のみの参加はできません。両日ご参加ください。
- ・キャンセルの場合は、前日まで必ずご連絡ください。
- ・ご家族向けのワークショップも別途企画中です。